

平成 30 年度 北海道新エンジンシステム研究会

第 1 回研究会 議事録

日時

2018 年 10 月 20 日 (土), 21 日 (日)

場所

北海道科学大学芦原ニセコ山荘
(北海道虻田郡ニセコ町字曾我 598)

講演題目・講師

1. 河関 年成 様 (明電舎)
「動力計基礎講習会」
2. 坂根 悠平 様 (三菱重工エンジン&ターボチャージャ)
「技術進化をもたらすためにエンジニアに求められるもの」
3. 長沼 要 先生 (金沢工業大学)
「RDE とエンジンシステム制御」

参加人数

20 名

共催・協賛団体

北海道新エンジンシステム懇話会, 自動車技術会北海道支部学生自動車研究会

講演内容

1. 動力計の種類や各動力計の作動原理・特徴, 自動車開発の現場における動力計の活用事例等について紹介いただいた。また, シミュレーション技術は開発の現場において非常に有用なツールであるものの, 計算結果の妥当性を判断するのは人であるので, 日頃から実際のモノに触れてセンスを養うのが大切とのお話をいただいた。
2. 所属企業における業務内容等をご紹介いただいたのちに, これからの技術進化を担うエンジニアに求められる心構えや能力等について, ご自身の経験を基にご説明いただいた。大半の技術は“革新”するのではなく“進化”するものであり, エンジニアの知識や経験, 創意工夫の積み重ねが着実な進化をもたらすとのお話をいただいた。
3. 欧州で発覚したディーゼル車の排ガス規制逃れ問題の詳細な内容や, この問題を発端として導入が加速されている RDE (実路走行排気) の現況について解説いただいた。また, 金沢工大で取り組まれている, シミュレーション技術を取り入れた実路走行時の燃費予測手法の開発内容についてご紹介をいただいた。

以上